

ほこみち 長崎未来シンポジウム 2024を開催しました

国道34号長崎市桜町～万才町の区間（約749m）が歩行者利便増進道路（通称：ほこみち）に指定されたことを踏まえ、「ほこみち」の可能性について、地域の皆様とともに考えていくための「ほこみち 長崎未来シンポジウム2024」を開催しました。

【日 時】 2024年2月10日(土) 14:00～16:00

【場 所】 長崎市立図書館 多目的ホール

【参加人数】 57名

主な内容

①基調講演

テーマ：岬のエリアの歴史

講演者：山口 広助 氏(長崎の歴史風俗研究家)

国道34号が位置する岬のエリアは「長崎発祥の地」であることから、地元TV番組にも出演され、まちあるきガイドとして活躍されている山口広助氏に、「岬のエリアの歴史」について講演いただきました。

②トークセッション

テーマ：長崎におけるほこみちの可能性

登壇者：荒木 将博 氏 (興善町自治会会長)、美咲 氏 (地方創生型インフルエンサー)、
江口 忠宏 氏 (N-TIP)

コーディネーター：平山広孝氏、岩本 諭氏 (ほこみち長崎未来検討委員会委員)

各分野でご活躍されている方々に、「長崎におけるほこみちの可能性」として意見交換いただきました。「エリアには石碑が多いので、歴史の価値を道の視点から発信」、「ミニ長崎街道といった特徴をつけて、歩くだけで楽しい道」、「歩道が広くなれば、くんちの庭見世の会場として活用」、「高台にあるので、歩道上に防災ベンチ等の設置」など、ほこみちの可能性を感じられる、さまざまな意見やアイデアがありました。



▲基調講演の様子



▲トークセッションの様子

次回
ワークショップの
ご案内

みなさんと「ほこみち」について考えるワークショップを開催します！

【実施名称】 ほこみち長崎未来ワークショップ (仮)

【開催日時】 2024年3月19日 (火) 18:30～20:30

【開催場所】 長崎商工会議所 2階ホール

どなたでもご参加いただけます

※申込方法は後日お知らせします